

教科名	国語科	科目名	沖縄の文学	単位数	2単位	対象	2年 (郷土文化コース)
科目の分類	原則履修科目		履修順序				
科目の目標	1 琉歌を中心に沖縄の文学を取り上げることで、郷土の文化に親しむ。 2 方言の持つ豊かで美しい心情を学び、言葉の感性を高めていく。 3 郷土文化コースの「郷土の音楽」、「琉球舞踊」の技能的科目の理論的分野として学習できるようにする。						
教科書 主な教材	沖縄学版『新編沖縄の文学(増補・改訂版)』						
学習内容 (概要)	1 沖縄の方言の特徴を学ぶ。 2 沖縄の古典文学を代表する「おもろさうし」や組踊「執心鐘入」を学ぶ。 3 琉歌、民謡、沖縄芝居を学ぶ。						
学習の ポイント	1 郷土文化の専門の授業である「郷土の音楽」、「琉球舞踊」と連携しながら進め、専門で習っていることを授業でも生かせるようにする。 2 楽しく授業ができるように、視聴覚教材を効果的に活用する。 3 積極的に授業に参加することで、方言文化に親しめるようにする。						
到達目標	1 郷土の文化に触れ、方言文化に対する関心を深める。 2 組踊「執心鐘入」を理解し、実演できるようになる。						
評価の方法	・定期テスト、小テストの得点。 ・授業時の発表、ノート・プリント等の提出状況。 ・授業に取り組む姿勢。                 } を総合的に判断して評価する。						

学習展開〈年間指導計画の概要〉

	単元または項目	学習のねらい	主な学習活動(教材等)
一学期前半	授業ガイダンス	・年間授業計画、評価等	・学習の仕方、評価の仕方について説明する。
	一 身近な方言 二 歌謡 1 歌謡概説 2 祈りの文学 3 オモロ	・沖縄方言の特徴を理解する。 ・沖縄の歌謡の内容、特徴について理解する。 ・沖縄の古典文学を代表する「おもろさうし」に触れる。	・音韻体系や文法に一定の法則があることを学ぶ。 ・沖縄の歌謡についての解説文を読み、内容と特徴をまとめる。 ・「天に鳴響む大主」「えけ、上がる三日月や」などの音読と読解。
一学期後半	中間テスト		
	二 歌謡 4 奄美の歌謡 5 宮古の歌謡 6 八重山の歌謡 三 琉歌	・奄美、宮古、八重山の歌謡に触れる。  ・琉歌のリズム、心情を味わう。	・「あさばな節」「豆の花のアヤグ」「鷺の鳥節」「トウバラマ節」などの読解と鑑賞。  ・よしやと恩納ナベの琉歌を学ぶ。 ・琉舞の中の琉歌について学ぶ。 ・「貫花」「花風」「かせかけ」等の歌詞を理解する。
二学期前半	期末テスト		
	四 琉球説話文学 五 劇文学 1 劇文学概説	・琉球の説話の特色を理解する。 ・「銘刈子」「白銀堂伝説」の内容を理解する。 ・組踊と沖縄芝居について理解する。	・琉球説話文学概説を読み、琉球の説話の特色をまとめる。 ・「銘刈子」と「白銀堂伝説」の読解。 ・劇文学概説を読み、組踊と沖縄の芝居について、その歴史や特徴を学ぶ。
二学期後半	中間テスト		
	五 劇文学 2 組踊  3 沖縄の芝居	・組踊の特徴について理解する。 ・組踊「執心鐘入り」の内容を理解し、台詞や琉歌学ぶ。 ・登場人物の心情を理解する。 ・芸術鑑賞として「執心鐘入」の舞台を鑑賞する。 ・沖縄芝居「丘の一本松」に親しむ。	・組踊「執心鐘入」を視聴覚教材を活用しながら学習する。 ・学習プリントを活用して、場面ごとに内容を理解する。 ・芸術鑑賞の感想文を書く。  ・「丘の一本松」を読む。 ・「丘の一本松」の方言を理解する。 ・「丘の一本松」のビデオを鑑賞する。 ・口語訳を参考にして、『三鳥問答』を読み内容を理解する。
	六 評論	・『三鳥問答』を読み、先人たちの思想に触れる。	
三学期	期末テスト		
	七 琉球和文学	・琉球和文学に触れる。	・和歌『沖縄集』より五作品を鑑賞する。 ・擬古文物語「貧家記」を読む。 ・随筆『思出草』を読む。
	学年末テスト		

